

四国発信研究環境調和推進プロジェクトシンポジウム 2022 (女性リーダー育成セミナー/女性キャリア形成支援セミナー同時開催)

- 1)調査目的 本調査は、シンポジウム 2022 において、参加者の属性、セミナーの満足度、ニーズ等を把握し、今後の事業計画等の参考とすることを目的とする。
- 2)調査対象 シンポジウム 2022 視聴者
- 3)調査方法 シンポジウム 2022 終了後、メールにて Web アンケートへの回答を依頼
- 4)調査期間 2023 年 2 月 2 日 (木) ~2 月 19 日 (日)

■アンケート集計結果

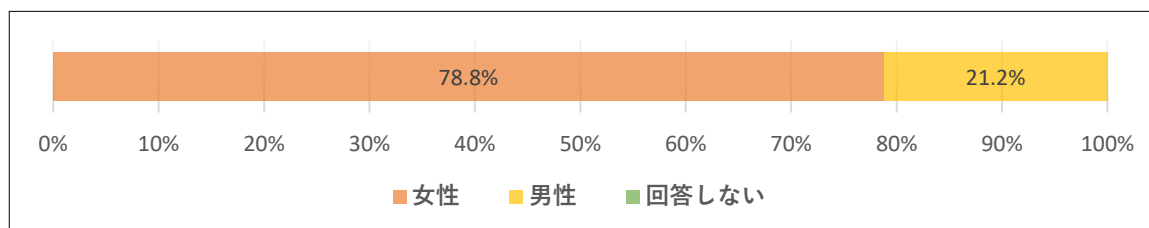
回答数 対象者 182 名、回答者 66 名

回答率 36.3%

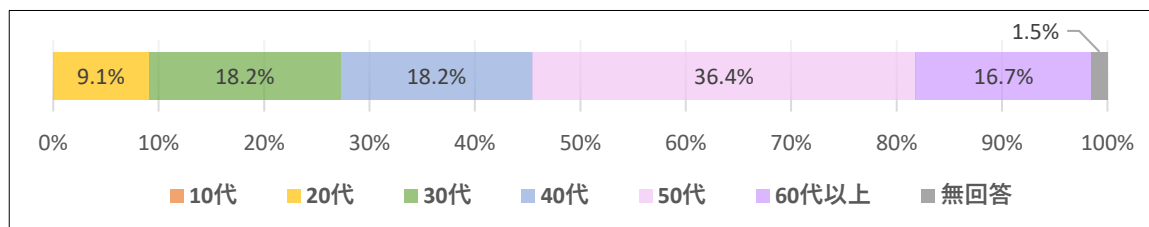
■アンケート調査結果

○回答者の属性

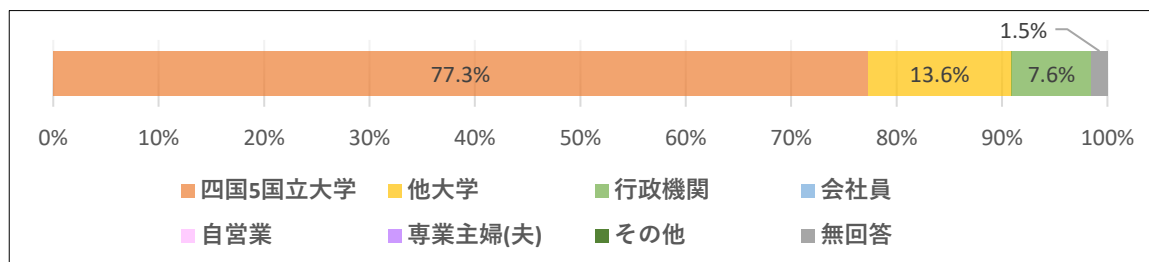
◆性別



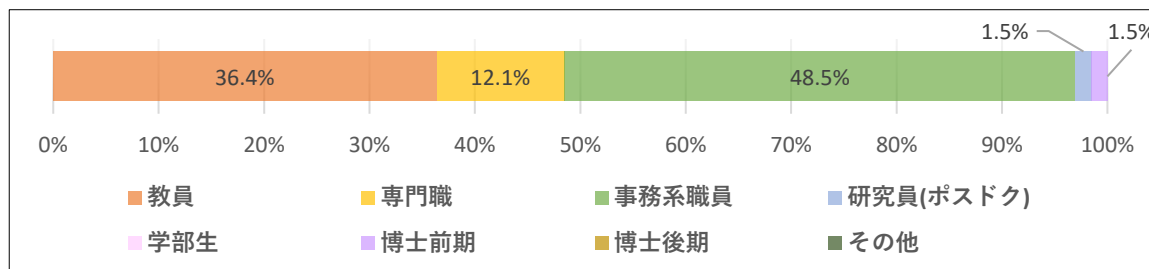
◆年齢



◆所属

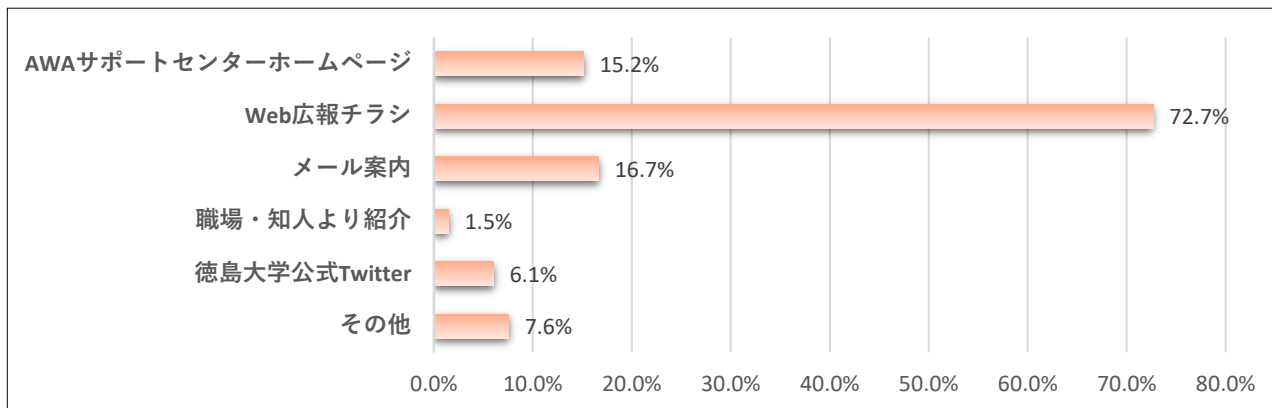


◆職種



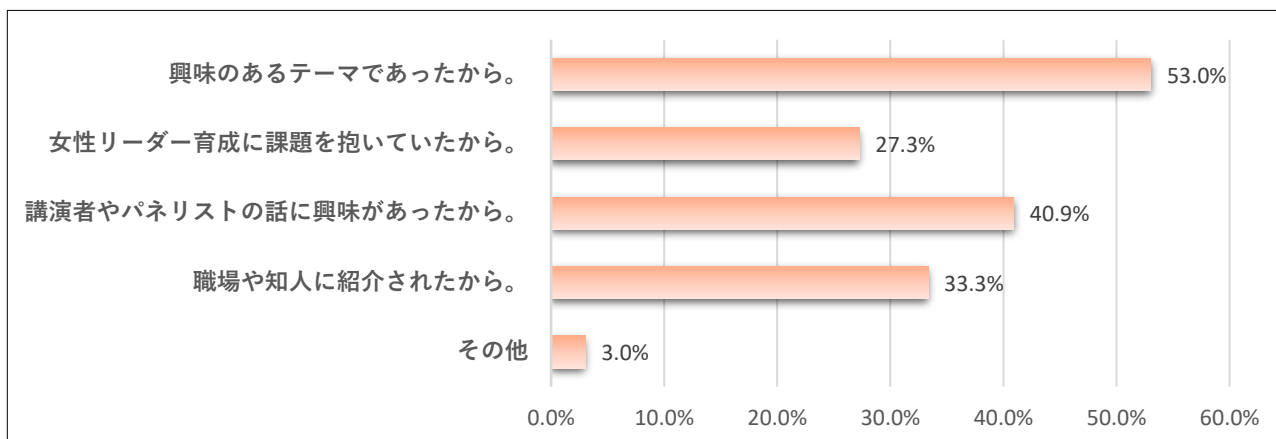
回答者の性別では、女性が78.8%で男性が21.2%であった。
年齢は20代～30代が27.3%で、40代以上が71.2%であった。
所属は、四国5国立大学が77.3%で、他機関等の学外からは21.2%であった。
職種は、事務系職員が48.5%と最も多く、次いで教員が36.4%であった。

問1. 本シンポジウムを知ったきっかけをお聞かせください。(複数回答可)



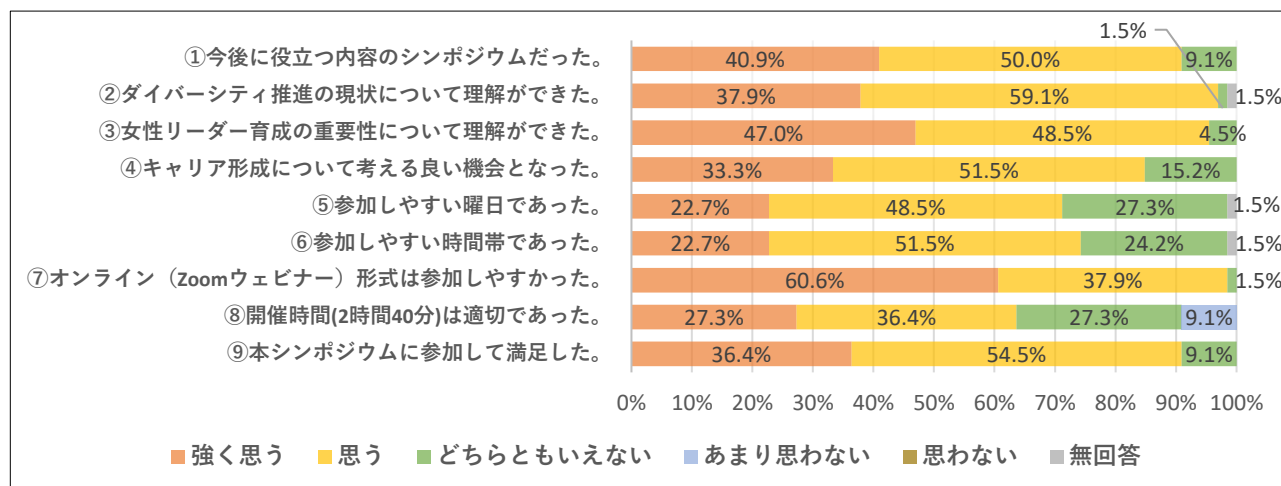
開催の広報効果については、『Web 広報チラシ』が72.7%と最も高く、次いで『メール案内』が16.7%であった。

問2. シンポジウムに参加された理由をお聞かせください。(複数回答可)



シンポジウム参加理由については、『興味のあるテーマであったから』が53.0%と最も高く、次いで『講演者やパネリストの話に興味があったから』が40.9%、『職場や知人に紹介されたから』が33.3%であった。

問 3. 以下の質問事項について、該当する□にチェックをいれてください。



『今後に役立つ内容のシンポジウムだった』に対して、90.9%が『強く思う』『思う』と回答し、また、『ダイバーシティ推進の現状について理解ができた』に対して、97.0%が『強く思う』『思う』と回答しており、開催意義のあるシンポジウムとなった。また、『女性リーダーの育成の重要性について理解ができた』に対しては 95.5%、『キャリア形成について考えるいい機会となった』に対しては 84.8%が『強く思う』『思う』と回答しており、女性リーダー育成の重要性やキャリア形成に対する理解を深められた。開催形式については、各項目の『参加しやすかった』に対して、『曜日』『時間帯』『開催時間』『オンライン』はそれぞれ、71.2%、74.2%、63.7%、98.5%と、過半数が『強く思う』『思う』と回答しており、大変参加しやすい開催形式であったことがわかる。また、90.9%が『本シンポジウムに参加して満足した』に対して『強く思う』『思う』と回答しており、総じて満足度の高いシンポジウムとなったと伺える。